

FMU にじいろ通信

第4号 2023年3月発行

今年度もコロナ禍の中、さまざまなライクワークバランスに関するイベントを開催いたしました。今回はその中から1月から3月にかけて実施したイベントを中心にお伝えいたします。

FMUキャリアサポート交流会(1/30) ～男性育休の体験談など紹介～

1月30日(月)に「FMUキャリアサポート交流会」が会場及びWeb参加方式により開催され、30名が参加されました。

講師に、医学部脳神経外科学講座 講座主任の藤井正純先生及び同講座講師の岩楯兼尚先生をお招きしました。

藤井先生からは、「**山を登るー脳神経外科として歩んだ道のりと展望**」と題して、これまでの体験談について、岩楯先生からは「**子供5人と男性育休、本当にたいせつなものって何だろう**」と題して、御自身の体験談を交えて夫婦愛や家族愛の大切さについてそれぞれ語っていただきました。



藤井正純先生



岩楯兼尚先生

女性医師・研究者のキャリア形成を考えるカフェ開催(1/13)



花山千恵先生

1月13日(金)に、女性医師・研究者のキャリア形成を考えるカフェが開催され、10名の教員・学生が参加されました。

講師に、医学部麻酔科学講座助手 花山千恵先生をお迎えし「**子育て医療者の家庭時間の使い方**」と題してご講演いただきました。講演では、職場でのワーク・ライフバランスに関するアンケート結果に基づき、時間が無い状態を解消するためのさまざまなアイデアを紹介していただきました。

アンケート調査結果を公表

今年度の「ダイバーシティに関するアンケート」調査が昨年7月から8月にかけて本学内の教職員に対して実施され、集計結果がダイバーシティ推進室のホームページ(本学のデータ)に掲載されました。

8つの設問に対して2,557人から回答(回答率77.9%)が得られました。

詳しい集計結果はダイバーシティ推進室のホームページを御覧下さい。

毎年実施しているアンケート集計結果の比較分析を通じて事業計画に反映され、教職員のダイバーシティ推進、ワークライフ・バランス改善が図られるように努めます。



ダイバーシティ推進室
HP

看護学部カフェを開催(2/1)

2月1日(水)に、看護学部カフェが開催され、23名の教職員・学生が参加されました。講師の看護学部母性看護・助産学部門教授の篠原好江先生から「**セクシュアル・マイノリティ**」と題してご講演いただき、さまざまな性的マイノリティの現状について実例を挙げてご説明いただきました。参加者からは「人の多様性を認識すること、それが人権の保障になることを改めて理解できた」などの声が寄せられました。



篠原好江先生

令和4年度 成果報告会(3/3,6,10,24)を開催

ダイバーシティ推進室の取組の一つとして、**ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）により研究が困難な教員**に対して**研究支援員5名及び学生アルバイト6名**配置しております。今年度は、上半期と下半期合わせて**27名の教員の方に研究支援**を行いました。今年度支援を受けた下記の教員の方々にどんな支援を受けてどんな成果を挙げられたかお話しただく「FMU成果報告会」を3月3日(金)、6日(月)、10日(金)、24日(金)に開催しました。今回は会場とWebによるオンラインセミナーの同時開催方式によりご発表いただきました。

医学部

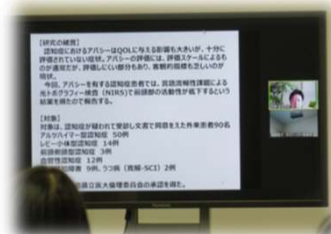
病態制御薬理医学講座	講師	堀田 彰一朗先生
衛生学・予防医学講座	講師	日高 友郎先生
衛生学・予防医学講座	助教	遠藤 翔太先生
疫学講座	講師	江口 依里先生
循環器内科学講座	助教	武藤 雄紀先生
循環器内科学講座	助教	横川 哲朗先生
循環器内科学講座	助教	佐藤 悠先生
循環器内科学講座	助教	野寺 穰先生
循環器内科学講座	助手	谷 哲矢先生
循環器内科学講座	助教	阿部 諭史先生
循環器内科学講座	助教	佐藤 彰彦先生
循環器内科学講座	助教	三浦 俊輔先生
血液内科学講座	学内講師	原田 佳代先生
消化管外科学講座	助教	小野澤 寿志先生
麻酔科学講座	講師	佐藤 薫先生
耳鼻咽喉科学講座	准教授	今泉 光雅先生
救急医療学講座	助手	鈴木 剛先生
放射線健康管理学講座	助手	伊東 尚美先生
教育評価室	助教	日高 亜紀子先生
癌集学的治療地域支援講座	准教授	中嶋 正太郎先生

会津医療センター

漢方医学講座	教授	鈴木 雅雄先生
血液内科学講座	助教	助川 真純先生
精神医学講座	准教授	志賀 哲也先生
整形外科・脊椎外科学講座	助手	波入 雄大先生
臨床医学部門	教授	歌野 健一先生

保健科学部

臨床検査学科	教授	宇月 美和先生
作業療法学科	講師	川崎 伊織先生



◆用語解説◆ 『エクイティ』

エクイティ(Equity)とは、一人ひとりがパフォーマンスを出せるよう、個々に合わせて支援内容を調整し、公平な土台をつくる上げをいいます。

日本語では「公平性」「公正性」などと訳されます。近年、「DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)」を掲げる企業が増えています。社会構造の不均衡がある中では、すべての人に同じ支援を行っても、不均衡はそのまま持続します。社会構造格差を是正するための考え方として、個人のスタート地点の違いに着目したDE&Iの概念が広がりを見せています。(出典:日本の人事部ホームページから抜粋)

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>
ダイバーシティ推進室長 小宮 ひろみ/コーディネーター 橋本/渡邊